

卷末参考資料

■ 調査票／調査項目

文部科学省委託事業
大学における学芸員養成課程及び資格取得者の意識調査
(調査票A：大学教員用)

【調査の目的】

文部科学省「平成20年度 地域と共に歩む博物館育成事業」の一環として、博物館制度のうち学芸員資格について、大学教員がどのように捉えているかを調査するものです。収集したデータや関係者のご意見は、今後の施策検討の参考にされます。

【ご回答者に関するお願い】

- ・貴校において、学芸員養成課程を担当されている教員にご回答をお願いします。
- ・常勤教員、実務家教員を優先してお選びください。
- ・常勤教員や実務家教員が在籍されていない場合は、兼任教員や非常勤教員にご回答をお願いします。

【個人情報保護について】

回答者の所属、氏名、連絡先等の個人情報は、個人情報保護の観点から厳正に扱います。関係者のみが閲覧し、本委託事業以外の目的で使用することはありません。

【回答について】

- ・回答できない箇所がございましたら、空欄のままで結構です。
- ・該当しない項目もあるかと存じますが、ご了承ください。
- ・設問中にある「博物館」とは、美術館、資料館、史料館などのほか、動物園、植物園、水族館も含まれます。
- ・設問によっては、事業報告書、年報、要覧、シラバス等の資料を送付することで、回答に換えていただくことも可能です。資料を送付する場合は、同封の返信用封筒をご使用ください。

大学に関する基礎的調査事項
<p>1. 大学の名称<必須入力></p> <p>■設問 貴校の名称をご記入ください</p> <p>名称 _____</p> <p>※正式名称の表記に旧字体等が使われる場合は、そのままご記入ください</p>
<p>2. 大学の種類（設立主体）</p> <p>■設問 貴校の設立主体について、以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください</p> <p>1. 国立大学 2. 公立大学 3. 私立大学</p>
<p>3. 学芸員養成課程の開設年月</p> <p>■設問 貴校の学芸員養成課程の開設年月をご記入ください</p> <p>西暦 _____ 年 _____ 月</p>

回答者に関する調査事項

4. 回答者の連絡先

- 設問** あなたの勤務する学部学科、お名前、連絡先（電話番号／メールアドレス）をご記入ください。電話番号は、貴校の代表番号と内線番号、あるいは直通番号をご記入ください

学部学科 _____ 学部 _____ 学科 _____

お名前 _____

電話番号 代表 _____ (内線) _____ 直通 _____

メールアドレス _____ @ _____

※ご記入いただいたご回答者の所属、氏名、連絡先等の個人情報は、個人情報保護の観点から厳正に扱います。
関係者のみが閲覧し、本委託事業以外の目的で使用することはありません

5. 回答者の経歴など

- 設問 あなたの専門分野をご記入ください

専門分野 _____

- 設問 あなたが博物館学に関連する学会に所属している場合、その学会名をご記入ください

所属する学会名 _____

- 設問 平成20年10月現在で、貴校におけるあなたの在任年月をご記入ください

在任年月 _____ 年 _____ カ月

- 設問 貴校における現在のあなたの職階について、以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

職階 1. 教授 2. 准教授 3. 講師 4. 助教

- 設問 貴校における現在のあなたの勤務形態について、以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びの上、さらに選んだ回答の隣の設問にご回答ください

勤務形態 1. 常勤→1. 専任（貴校にて、主に学芸員養成に関する課程や科目を担当）
2. 他の課程や科目と兼任（貴校にて、主に他の課程や科目を担当）
2. 非常勤→本業（職種）（ _____ ）

※「本業」の記入例: 博物館の学芸員、動物園の飼育員、保存修復研究所の研究員、
運送会社の会社員、保険会社の会社員

- 設問 あなたは博物館に勤務されたことがありますか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください。「1. ある」をお選びの方は、複数の博物館に勤務された場合も含めて、延べ年月をご記入ください

博物館勤務の経験 1. ある→勤務年月 延べ _____ 年 _____ カ月 2. ない

- 設問 あなたは学芸員資格をお持ちですか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください。「1. 保有している」をお選びの方は、さらに、隣の設問の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

学芸員資格の保有 1. 保有している →1. 大学・大学院在籍時に取得
2. 通信教育によって取得
3. 学芸員補を経て取得
4. 文部科学省の試験認定によって取得
5. 社会教育政策研究センターの講習によって取得
6. 無試験認定によって取得
2. 保有していない

※ご記入いただいたご回答者の身分や経歴等に関する個人情報は、個人情報保護の観点から厳正に扱います。
関係者のみが閲覧し、本委託事業以外の目的で使用することはありません

学芸員養成課程に関する調査事項

6. 学芸員養成課程の理念と到達目標

■設問 貴校の学芸員養成課程における指導の理念を、下の記入欄に自由に記入してください

■設問 貴校の学芸員養成課程における到達目標について、以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

1. 博物館の現場で即戦力になるような人材を養成する
2. 博物館への理解者を養成する
3. その他 ()

7. 学芸員養成課程の履修科目

■設問 貴校の学芸員養成課程において、学芸員資格取得に必要な博物館法上の学芸員養成科目の単位数と履修開始年次を、表の区分に沿ってご記入ください。表にある科目名と貴校における開講科目名が異なる場合は、最も近い科目名の欄にご記入ください

- ・単位数欄：各開講科目の単位数をご記入ください
- ・履修開始年次欄：各科目の履修を始めることができる年次をご記入ください

科目名	単位数	履修開始年次
生涯学習概論		
博物館概論		
博物館経営論		
博物館資料論		
博物館情報論		
博物館実習		
視聴覚教育メディア論		
教育学概論		
博物館学		
博物館学各論		
必要単位数合計		

<参考> 科目の統合と単位数について

- ・博物館概論、博物館経営論、博物館資料論及び博物館情報論の単位は、これらの科目の内容を統合した科目である博物館学の単位(6単位以上)をもって替えることができる。
- ・博物館経営論、博物館資料論及び博物館情報論の単位は、これらの科目の内容を統合した科目である博物館学各論の単位(4単位以上)をもって替えることができる。
- ・博物館実習の単位数は、大学における博物館実習に係る事前及び事後の指導の1単位を含むものとする。

■設問 現在、大学における学芸員養成課程の科目や単位数が検討されています。学芸員資格取得に必要な科目や単位数が増えることについて、あなたのお考えを下記の欄にご記入ください

8. 博物館実習

■**設問** 博物館実習の履修可能年次について、以下の選択肢の中から該当するものを**全て**お選びください(複数回答可)

1. 2年次
2. 3年次
3. 4年次
4. その他 ()

■**設問** 貴校の博物館実習の内容について、以下の選択肢の中から該当するものを**全て**お選びください(複数回答可)

1. 学内で館務実習を行う(大学附属博物館での実習も含む)
2. 学外(博物館等)で館務実習を行う
3. 見学実習を行う
4. その他 ()

■**設問** 貴校が博物館で博物館実習を行う場合、登録博物館に限定するなど、館務実習先の選定の基準を設けていますか。以下の選択肢の中から該当するものを**一つ**お選びください

1. 選定の基準を設けている
2. 選定の基準を設けていない

■**設問** 館務実習における実習記録や実習ノートやそれに類するものについて、以下の選択肢の中から該当するものを**一つ**お選びください

1. 実習記録や実習ノートなどがある
2. 実習記録や実習ノートなどがない

■**設問** 受講生の館務実習における評価主体について、以下の選択肢の中から該当するものを**全て**お選びください(複数回答可)

1. 担当教員が評価する
2. 実習先の博物館が評価する
3. その他 ()

9. 日本の学芸員養成課程に対する要望

■**設問** 日本の学芸員養成制度に対するご意見や要望がございましたら、下の記入欄に自由に記入してください

学芸員養成課程の履修学生に関する調査事項

10. 履修学生の履修動機

■設問 貴校の学芸員養成課程における履修学生の履修動機について、以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください(複数回答可)

1. 博物館で学芸員として勤務することを目指している学生が多い
2. 博物館や学芸員に関心がある学生が多い
3. 博物館や学芸員への関心よりも、資格取得を第一目的とする学生が多い
4. 特別な目的意識を持たない学生が多い
5. その他 ()

11. 履修学生の専攻分野

■設問 貴校の学芸員養成課程における履修学生の専攻分野について、以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください(複数回答可)

1. 自然科学系
2. 人文科学系
3. 社会科学系
4. 教育学系
5. その他 ()

※各分野の事例

自然科学系	自然史学、生物学、動物学、水産学、地学、海洋学、環境学、科学・技術史、化学、物理学、建築学 等
人文科学系	考古学、歴史、民族学、民俗学、文化人類学、美学・美術史、文化史、デザイン、工芸、芸術学、文化財保存科学、家政、服飾、文学 博物館学、音楽 等
社会科学系	経済学、統計学、公共政策 等
教育学系	学校教育、社会教育 等

12. 履修学生の傾向(受講態度など)

■設問 貴校の学芸員養成課程における履修学生の傾向(受講態度など)について、以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください(複数回答可)

1. 学芸員の業務や学芸員資格について理解しようとする努力が見られる学生が多い
2. 博物館への関心が高く、個人的に頻繁に博物館を訪れる学生が多い
3. 他資格(教員、社会教育主事、司書等)の課程も履修している学生が多い
4. 講義に遅刻や欠席する学生が多い
5. 常識や基礎学力に欠ける学生が多い
6. その他 ()

学芸員資格の取得と博物館への就職に関する調査事項

13. 学芸員資格の取得と博物館への就職

■**設問** 貴校における、最近3カ年(平成17・18・19年度)の学芸員資格取得者数と、資格取得者の中で博物館等関連施設に就職した人数を()内にご記入ください

	学部学生	大学院生	科目等履修生等	通信教育学生	計
17年度 (博物館等へ就職)	人 ()人	人 ()人	人 ()人	人 ()人	人 ()人
18年度 (博物館等へ就職)	人 ()人	人 ()人	人 ()人	人 ()人	人 ()人
19年度 (博物館等へ就職)	人 ()人	人 ()人	人 ()人	人 ()人	人 ()人

※「博物館等関連施設」とは:

博物館、美術館、資料館、史料館、文書館、埋蔵文化財センター、アートセンター、動物園、植物園、水族館、(展示主体で、作品売買を行わない)ギャラリー等

14. OB会などの状況

■**設問** 貴校には学芸員養成課程を修了した学生によるOB会やそれに類するような組織がありますか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

1. OB会やそれに類するような組織がある
2. OB会やそれに類するような組織は存在しない

15. 博物館就職希望者への対応

■**設問** 博物館への就職を希望する履修学生に対して、貴校が実施していることがあれば、以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください(複数回答可)

1. 博物館や自治体の求人情報を収集し、履修学生に提供している
2. 博物館等に勤務している卒業生に情報提供を依頼している
3. その他 ()

博物館制度や学芸員制度などに関する調査事項

16. 博物館との連携

■設問 貴校が博物館との連携について行っていることがあれば、以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください（複数回答可）

1. 共同で展覧会の企画や開催をしている
2. 講師派遣を行うなど、教員と学芸員が人事交流を図っている
3. 特定の博物館と協定を結び、学生がボランティアなど博物館の事業に参画している
4. 特定の博物館とインターンシップ協定を結び、学生を受け入れてもらっている
5. 特定の博物館が大学を対象に募集しているパートナーシップ等に入会している
6. 共同で研究を推進している
7. 共同で教育普及活動やイベントを企画・開催している
8. その他（)

17. 学芸員制度

■設問 学芸員養成課程を担当する教員の視点に立って、学芸員制度に関するあなたのご意見やお考えで、以下の選択肢の中から該当するものがあれば全てお選びください（複数回答可）

1. 現行の大学における、学芸員養成課程のカリキュラムを改善・充実する必要がある
2. 大学院など専門高等機関を設けることにより、学芸員の養成課程を高度化・専門化する必要がある
3. 学芸員の研修・経歴などを評価し、上級学芸員など職階制度を導入する必要がある
4. 学芸員制度に職種による区分（研究、教育、保存修復など）を導入する必要がある
5. 学芸員の数を増員し、採用機会を拡大する必要がある
6. 博物館内外で学芸員の研修を行う機会を増やす必要がある
7. その他（)

18. 博物館の運営

■設問 学芸員養成課程を担当する教員の視点に立って、博物館の運営に関するあなたのご意見やお考えで、以下の選択肢の中から該当するものがあれば全てお選びください（複数回答可）

1. 各博物館がミッション（使命）を明確に示す必要がある
2. 各博物館が収集方針を明確に示し、方針に沿った収集活動を行う必要がある
3. 博物館利用者の意見をもっと運営に反映させる必要がある
4. 各博物館が評価基準を明確に示した上で、博物館評価を実施する必要がある
5. 指定管理者制度の導入について、十分に検討する必要がある
6. その他（)

19. 博物館の登録制度

■設問 学芸員養成課程を担当する教員の視点に立って、博物館の登録制度に関するあなたのご意見やお考えで、以下の選択肢の中から該当するものがあれば全てお選びください（複数回答可）

1. 登録の基準を検討する必要がある
2. 登録の手続きを検討する必要がある
3. 登録の所管について検討する必要がある
4. 税制面など、登録によってもたらされるメリットを拡大する必要がある
5. 登録制度を世間に周知する必要がある
6. その他（)

文部科学省委託事業
大学における学芸員養成課程及び資格取得者の意識調査
(調査票B：大学生・大学院生用)

【調査の目的】

文部科学省「平成20年度 地域と共に歩む博物館育成事業」の一環として、博物館制度のうち学芸員資格について、大学3・4年生や大学院生がどのように捉えているかを調査するものです。収集したデータや関係者のご意見は、今後の施策検討の参考にされます。

【個人情報保護について】

回答者の所属、氏名、連絡先等の個人情報は、個人情報保護の観点から厳正に扱います。関係者のみが閲覧し、本委託事業以外の目的で使用することはありません。

【回答について】

- ・回答できない箇所がございましたら、空欄のまま結構です。
- ・設問の前に★印がある場合、設問文に指示された回答者のみご回答ください。
- ・該当しない項目もあるかと存じますが、ご了承ください。
- ・設問中にある「博物館」とは、美術館、資料館、史料館などのほか、動物園、植物園、水族館も含まれます。

回答者に関する調査事項	
1. 回答者に関すること	
■設問 あなたの性別、また、大学生の方は所属大学・学部・学科・学年を、大学院生の方は所属大学院・専攻・課程などをご記入ください	
性別	1. 男性 2. 女性
所属大学・学部・学科・学年	_____ 大学 学部 学科 年生
所属大学院・専攻・課程	_____ 大学院 専攻 課程

博物館との関わりや学芸員養成課程の履修動機に関する調査事項

2. 博物館への来館経験

- 設問 あなたは、これまで博物館に行ったことがありますか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください。ただし、修学旅行、移動教室、見学実習など学校の授業や講義による来館は除きます
1. 行ったことがない
 2. 行ったことがある

以下の設問は、上記設問で「2. 行ったことがある」と回答した方のみお答えください

- ★設問 あなたが、初めて博物館に行ったのはいつでしたか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

1. 大学入学前
2. 大学生の時
3. 大学院生の時

- 設問 あなたは大学に入学するまで、何回くらい博物館に行きましたか。以下の選択肢の中から最も近いものを一つお選びください

1. 0回
2. 1回
3. 2～4回
4. 5～9回
5. 10～49回
6. 50回以上

- 設問 あなたは現在、どのくらい博物館に行きますか。以下の選択肢の中から最も近いものを一つお選びください。ただし、大学(院)での講義や実習などによる来館は除きます

1. ほとんど行かない
2. 1年に1回
3. 1年に何回も
4. 月に1回
5. 月に何回も

- 設問 あなたがこれまで行ったことがある博物館の種類について、以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください(複数回答可)

1. 総合博物館
2. 科学博物館
3. 歴史博物館
4. 美術博物館
5. 野外博物館
6. 動物園
7. 植物園
8. 動植物園
9. 水族館
10. その他 ()

※館種の事例

1	総合博物館	人文科学及び自然科学に関する資料を収集・保管・展示
2	科学博物館	主として自然科学に関する資料を収集・保管・展示
3	歴史博物館	主として歴史及び民俗に関する資料を収集・保管・展示
4	美術博物館	主として美術に関する資料を収集・保管・展示
5	野外博物館	戸外の自然の景観及び家屋等の形態を展示
6	動物園	主として動物を育成して、その生態を展示
7	植物園	主として植物を育成して、その生態を展示
8	動植物園	動物・植物を育成して、その生態を展示
9	水族館	主として魚類を育成して、その生態を展示
10	その他	子ども博物館、文学館、文書館、個人記念館、埋蔵文化財センター等

3. 博物館の利用

- 設問 あなたがこれまでに博物館で行ったことについて、以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください(複数回答可)。ただし、学校、大学(院)での講義や実習などによる利用は除きます

1. 博物館内で展示(常設展、特別展)を見た
2. 教育普及活動(ガイドツアー、講義・講座、ワークショップ等)に参加した
3. イベント(コンサート、映画上映会等)に参加した
4. 博物館内にある図書・資料コーナー等で調べ物をした
5. 宿題・課題、疑問点などについて、学芸員に個別に問い合わせや相談をした
6. 博物館内にあるショップで買い物をした
7. 博物館内にあるカフェやレストランで食事をした
8. その他 ()

4. 博物館活動への参画

■設問 以下の選択肢の中で、あなたに該当するものがあれば全てお選びください（複数回答可）

1. 友の会に入会している（過去していた）
2. ボランティアをしている（過去していた）
3. その他（ ）

5. 実習やインターンシップ経験の有無

■設問 以下の選択肢の中で、あなたに該当するものがあれば全てお選びください（複数回答可）

1. 博物館で実習を行ったことがある
2. 博物館のインターンシップに参加したことがある

※「インターンシップ」とは：

一定期間、博物館の中で研修生として勤務すること。現在日本の博物館では、主に国立博物館で実施している。学芸員養成課程における館務実習（博物館実習）は除外する

6. 学芸員養成課程の履修動機

■設問 あなたが学芸員養成課程を履修した動機について、最も近いものを以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

1. 学芸員として博物館で仕事をしたいから
2. 博物館に関心があるから
3. 就職に備えて、資格を取得したいから
4. なんとなく（特別な目的はない）
5. その他（ ）

回答者の進路に関する調査事項

7. 卒業後の進路

■設問 大学（院）卒業後の進路について、あなたの予定や現在の状況で以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

1. 就職する予定である
2. 現在就職活動を行っている
3. 就職先が内定している
4. 卒業後すぐに就職する予定はない（大学院や他校等へ進学、留学、インターンシップ等）
5. 当分就職する予定はない（家事手伝い、専業主婦（夫）等）

◎上の設問で選んだ選択肢によって、それぞれ以下の設問にお進みください

- ・1. または 4. を選んだ方 →5 ページの設問 8・9 にご回答の上、8 ページの設問 14 以下にご回答ください
- ・2. を選んだ方 →6 ページの設問 10・11 にご回答の上、8 ページの設問 14 以下にご回答ください
- ・3. を選んだ方 →7 ページの設問 12・13 にご回答の上、8 ページの設問 14 以下にご回答ください
- ・5. を選んだ方 →8 ページの設問 14 以下にご回答ください

8. 希望する業種

★**設問** 設問7で選択肢「1. 就職する予定である」または「4. 卒業後すぐに就職する予定はない」と回答した方のみお答えください。あなたは将来どのような業種で働くことを希望していますか。以下の選択肢をもとに、下欄に第3希望まで該当する数字をご記入ください。また、「17. その他」をお選びの方は、その内容をご記入ください

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------|
| 1. 農林水産業 | 2. 鉱業 | 3. 建設業 | 4. 製造業 |
| 5. 電気・ガス・水道業 | 6. 情報・通信業 | 7. 運輸業 | 8. 商業 |
| 9. 金融・保険業 | 10. 不動産業 | 11. 飲食店・宿泊業 | |
| 12. 医療・福祉 | 13. 教育・学習支援業 | 14. 複合サービス事業 | |
| 15. サービス業 | 16. 公務 | | |
| 17. その他 (| | |) |

第1希望	第2希望	第3希望

※業種の事例

4	製造業	食料品、繊維製品、パルプ・紙、化学、医薬品、石油・石炭製品、ゴム製品、ガラス・土石製品、鉄鋼、非鉄金属、金属製品、機械、電気機器、輸送用機器、精密機器等
6	情報・通信業	通信業、放送業、情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業(出版、新聞等)等
7	運輸業	鉄道業、陸運業、海運業、空運業、倉庫・運輸関連業等
8	商業	卸売業、小売業等
9	金融・保険業	銀行業、証券・商品先物取引業、保険業等
13	教育・学習支援業	学校教育、社会教育(博物館等)、学習塾等
14	複合サービス事業	郵便局、協同組合等
15	サービス業	専門サービス業(法律、獣医、著述・芸術家、翻訳・通訳等)、学術・研究機関、洗濯・理容・美容、生活関連サービス業(旅行業等)、娯楽業(映画館、スポーツ施設、公園・遊園地等)、広告業、政治・経済・文化団体、宗教等
16	公務	国家公務、地方公務

9. 博物館への就職活動予定

★**設問** 設問7で選択肢「1. 就職する予定である」または「4. 卒業後すぐに就職する予定はない」と回答した方のみお答えください。博物館への就職活動について、あなたの予定を以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

1. 博物館への就職活動を行う予定である
2. 博物館への就職活動を行う予定はない
3. まだわからない、決めていない

★**設問** (上記設問中「1. 博物館への就職活動を行う予定である」と回答した方のみお答えください)あなたはどのような方法で博物館の求人情報を入手することを考えていますか。下の()欄にご記入ください
()

10. 現在目指している業種

★**設問** 設問 7 で選択肢「2. 現在就職活動を行っている」と回答した方のみお答えください。
 あなたが現在目指している業種をお聞きます。以下の選択肢をもとに、下欄に第3希望まで
 該当する数字をご記入ください。また、「17. その他」をお選びの方は、その内容を()内
 にご記入ください

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------|
| 1. 農林水産業 | 2. 鉱業 | 3. 建設業 | 4. 製造業 |
| 5. 電気・ガス・水道業 | 6. 情報・通信業 | 7. 運輸業 | 8. 商業 |
| 9. 金融・保険業 | 10. 不動産業 | 11. 飲食店・宿泊業 | |
| 12. 医療・福祉 | 13. 教育・学習支援業 | 14. 複合サービス事業 | |
| 15. サービス業 | 16. 公務 | | |
| 17. その他 (| | |) |

第1希望	第2希望	第3希望

※業種の事例

4	製造業	食料品、繊維製品、パルプ・紙、化学、医薬品、石油・石炭製品、ゴム製品、ガラス・土石製品、鉄鋼、非鉄金属、金属製品、機械、電気機器、輸送用機器、精密機器等
6	情報・通信業	通信業、放送業、情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業(出版、新聞等)等
7	運輸業	鉄道業、陸運業、海運業、空運業、倉庫・運輸関連業等
8	商業	卸売業、小売業等
9	金融・保険業	銀行業、証券・商品先物取引業、保険業等
13	教育・学習支援業	学校教育、社会教育(博物館等)、学習塾等
14	複合サービス事業	郵便局、協同組合等
15	サービス業	専門サービス業(法律、獣医、著述・芸術家、翻訳・通訳等)、学術・研究機関、洗濯・理容・美容、生活関連サービス業(旅行業等)、娯楽業(映画館、スポーツ施設、公園・遊園地等)、広告業、政治・経済・文化団体、宗教等
16	公務	国家公務、地方公務

11. 博物館への就職活動

★**設問** 設問 7 で選択肢「2. 現在就職活動を行っている」と回答した方のみお答えください。
 あなたは現在博物館への就職活動を行っていますか

1. 博物館への就職活動を行っている 2. 博物館への就職活動を行っていない

★**設問** (上記設問中「1. 博物館への就職活動を行っている」と回答した方のみお答えください)
 あなたはどのような方法で博物館の求人情報を入手していますか。下の()欄にご記入
 ください

()

★**設問** (2つ上の設問中「1. 博物館への就職活動を行っている」をお選びになった方のみお
 答えください) あなたはどのような就職活動を行っていますか。以下の選択肢の中から該当する
 ものを全てお選びください(複数回答可)

1. 博物館に勤務している卒業生や知人を訪問する(した)
2. 博物館への就職を意識して、インターンシップの研修生として博物館に勤務している(した)
3. 博物館への就職を意識して、博物館でボランティアやアルバイトを行っている(いた)
4. 国家公務員試験や地方公務員試験を受験する(した)
5. 博物館の求人に応募する(した)
6. その他()

※「インターンシップ」とは:

一定期間、博物館の中で研修生として勤務すること。現在日本の博物館では、主に国立博物館で実施している。
 学芸員養成課程における館務実習(博物館実習)は除外する

12. 就職内定先の業種

★**設問** 設問 7 で選択肢「3. 就職先が内定している」と回答した方のみお答えください。
あなたの就職内定先の業種について、以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください
(複数回答可)。また、「17. その他」をお選びの方は、その内容をご記入ください

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------|
| 1. 農林水産業 | 2. 鉱業 | 3. 建設業 | 4. 製造業 |
| 5. 電気・ガス・水道業 | 6. 情報・通信業 | 7. 運輸業 | 8. 商業 |
| 9. 金融・保険業 | 10. 不動産業 | 11. 飲食店・宿泊業 | |
| 12. 医療・福祉 | 13. 教育・学習支援業 | 14. 複合サービス事業 | |
| 15. サービス業 | 16. 公務 | | |
| 17. その他 (| | |) |

※業種の事例

4	製造業	食料品、繊維製品、パルプ・紙、化学、医薬品、石油・石炭製品、ゴム製品、ガラス・土石製品、鉄鋼、非鉄金属、金属製品、機械、電気機器、輸送用機器、精密機器 等
6	情報・通信業	通信業、放送業、情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業(出版、新聞 等) 等
7	運輸業	鉄道業、陸運業、海運業、空運業、倉庫・運輸関連業 等
8	商業	卸売業、小売業 等
9	金融・保険業	銀行業、証券・商品先物取引業、保険業 等
13	教育・学習支援業	学校教育、社会教育(博物館 等)、学習塾 等
14	複合サービス事業	郵便局、協同組合 等
15	サービス業	専門サービス業(法律、獣医、著述・芸術家、翻訳・通訳 等)、学術・研究機関、洗濯・理容・美容、生活関連サービス業(旅行業等)、娯楽業(映画館、スポーツ施設、公園・遊園地等)、広告業、政治・経済・文化団体、宗教 等
16	公務	国家公務、地方公務

13. 博物館への就職活動

★**設問** 設問 7 で選択肢「3. 就職先が内定している」と回答した方のみお答えください。
あなたは就職活動中、博物館への就職活動を行いましたか

1. 博物館への就職活動を行った 2. 博物館への就職活動を行わなかった

★**設問** (上記設問中「1. 博物館への就職活動を行った」と回答した方のみお答えください)
あなたはどのような方法で博物館の求人情報を入手しましたか。下の () 欄にご記入ください
()

★**設問** (2つ上の設問中「1. 博物館への就職活動を行った」をお選びになった方のみお答えください) あなたはどのような活動を行いましたか。以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください(複数回答可)

1. 博物館に勤務している卒業生や知人を訪問した
2. 博物館への就職を意識して、インターンシップの研修生として博物館に勤務した
3. 博物館への就職を意識して、博物館でボランティアやアルバイトを行った
4. 国家公務員試験や地方公務員試験を受験した
5. 博物館の求人募集に応募した
6. その他 ()

※「インターンシップ」とは:

一定期間、博物館の中で研修生として勤務すること。現在日本の博物館では、主に国立博物館で実施している。
学芸員養成課程における館務実習(博物館実習)は除外する

学芸員養成課程に関する調査事項					
14. 学芸員養成課程に対する評価					
<p>■設問 あなたの大学(院)における学芸員養成課程について、下の表の評価項目毎に「たいへん満足」「満足」「不満」「たいへん不満」のどれか一つを選び、その欄に○印をご記入ください。なお、「普通」や「どちらともいえない」のように評価が難しい場合も、以下の選択肢の中から最も近いものを必ずお選びください</p>					
	評価項目	たいへん満足	満足	不満	たいへん不満
カリキュラム	履修科目数				
	履修単位数				
	履修科目の内容				
博物館実習 (館務実習)	単位数				
	実習内容				
	実習期間				
	実習先の選択(あなたの専門分野と実習先の館種との整合性)				
	実習先(博物館)の体制(設備、備品、実習生の数、指導に当たる職員の数、指導方法)				
学習環境	講義に使用する資料・施設や設備・備品				
	学生数				
	教員の数				
	教員の指導方法				
15. 学芸員養成課程を履修したことによる影響					
<p>■設問 あなたが学芸員養成課程を履修したことによって、専攻分野との関連において問題や影響が生じたか。以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください(複数回答可)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学芸員養成課程の履修単位数が多く、専攻分野を学ぶ時間が不足している 2. 学芸員養成課程の履修内容が、専攻分野とかけ離れている 3. 専攻分野の講義、あるいは他の資格取得に必要な講義が、学芸員養成課程の講義と重なり、時間割の調整に苦勞する 4. その他 () 					
博物館や学芸員の業務への理解・知識に関する調査事項					
16. 博物館の役割に関する知識					
<p>■設問 下の記入欄に、博物館の役割について考えるところを記入してください</p>					
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>					

17. 学芸員の業務に関する知識

■設問 学芸員は博物館内外においてどのような仕事をしていると思いますか。下の記入欄に自由に記入してください

18. 学芸員に必要と思われる能力や資質

■設問 下の2つの表内にある項目について、学芸員に必要と思われる能力や資質を3つずつ○印をご記入ください。また、この他に必要と思う能力や資質があれば、表の下の()内に自由に記入してください

項 目	○印記入欄
着想力	
企画・構成力	
実行力	
整理・分類する能力	
観察力・分析力	
コミュニケーション能力(対人能力)	

項 目	○印記入欄
事務処理	
資料調査・情報収集	
文章作成	
デザイン	
情報処理・機器操作	
外国語	

他に必要と思う能力や資質 ()

19. 学芸員の業務に関する希望

■設問 あなたは、学芸員として博物館でどのような仕事を担当してみたいと思いますか。下の記入欄に自由に記入してください

文部科学省委託事業
大学における学芸員養成課程及び資格取得者の意識調査
(調査票C：博物館職員用)

【調査の目的】

文部科学省「平成20年度 地域と共に歩む博物館育成事業」の一環として、博物館制度のうち学芸員資格について、博物館職員がどのように捉えているかを調査するものです。収集したデータや関係者のご意見は、今後の施策検討の参考にされます。

【ご回答者に関するお願い】

- ・設問1～10：貴館で、事務的な業務に携わっている職員にご回答をお願いします。
- ・設問11～22：貴館で、学芸員資格をお持ちの学芸系職員にご回答をお願いします。

【個人情報保護について】

回答者の所属、氏名、連絡先等の個人情報は、個人情報保護の観点から厳正に扱います。関係者のみが閲覧し、本委託事業以外の目的で使用することはありません。

【回答について】

- ・回答できない箇所がございましたら、空欄のままで結構です。
- ・該当しない項目もあるかと存じますが、ご了承ください。
- ・設問によっては、事業報告書、年報、要覧等の資料を送付することで、回答に換えていただくことも可能です。資料を送付する場合は、同封の返信用封筒をご使用ください。

◆設問1～10は事務的な業務に携わっている職員にご回答をお願いします◆

基礎となる調査事項

1. 施設の名称（館園名）

■設問 貴館園の名称をご記入ください

名称 _____

※正式名称の表記に旧字体等が使われる場合は、そのままご記入ください

2. 回答者の所属部署（役職名）・名前・連絡先（電話番号／メールアドレス）

■設問 あなたの所属部署（役職名）、お名前、連絡先（電話番号／メールアドレス）をご記入ください

所属部署（役職名） _____ お名前 _____

電話番号 _____ メールアドレス _____ @ _____

※ご記入いただいたご回答者の所属、氏名、連絡先等の個人情報は、個人情報保護の観点から厳正に扱います。関係者のみが閲覧し、本委託事業以外の目的で使用することはありません

3. 施設の種類（総合、科学、歴史、美術等の館種）

■設問 貴館園の種類について、以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください。
 複数に該当する場合は、事業内容等によって主たる種類を一つお選びください

1. 総合博物館 2. 科学博物館 3. 歴史博物館 4. 美術博物館 5. 野外博物館
 6. 動物園 7. 植物園 8. 動植物園 9. 水族館
 10. その他（ ）

※館種の事例		
1	総合博物館	人文科学及び自然科学に関する資料を収集・保管・展示
2	科学博物館	主として自然科学に関する資料を収集・保管・展示
3	歴史博物館	主として歴史及び民俗に関する資料を収集・保管・展示
4	美術博物館	主として美術に関する資料を収集・保管・展示
5	野外博物館	戸外の自然の景観及び家屋等の形態を展示
6	動物園	主として動物を育成して、その生態を展示
7	植物園	主として植物を育成して、その生態を展示
8	動植物園	動物・植物を育成して、その生態を展示
9	水族館	主として魚類を育成して、その生態を展示
10	その他	子ども博物館、文学館、文書館、個人記念館、埋蔵文化財センター等

4. 施設の規模

■設問 博物館、水族館などは建物の延床面積を、野外博物館、動物園、植物園は建物の総面積をご記入ください。正確に把握していない場合は、大体の数値をご記入ください（1㎡未満は四捨五入してください）

博物館、水族館 等		野外博物館、動物園、植物園	
延床面積	㎡	総面積	㎡

5. 施設の平成19年度年間入館者総数

■設問 平成19年度の年間入館者総数をご記入ください。正確に把握していない場合は、大体の人数をご記入ください

_____人

6. 施設の平成19年度年間収入総額（年間事業収入）と年間支出総額（年間管理運営費）

■設問 平成19年度の事業収入と管理運営費の総額をそれぞれご記入ください。正確に把握していない場合は、大体の金額をご記入ください

年間事業収入 _____千円

年間管理運営費 _____千円

学芸系職員の採用に関する調査事項

7. 学芸系職員の採用方法

■設問 貴館園において学芸系職員を採用する場合の採用方法について、以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください（複数回答可）

1. 館が直接採用する
 2. 館の設置者・設置主体（自治体、会社、財団など）が採用し、館に配属する
 3. 館の運営主体（会社、団体、指定管理者など）が採用し、館に配属する
 4. その他（ ）

8. 学芸系職員、学芸員補職員などの状況

- 設問 貴館園では学芸系職員を採用する場合、学芸員資格を保有していることを採用条件にしていますか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください
 1. している 2. していない

- 設問 貴館園の学芸系職員、及び学芸員補職員などの状況(平成20年10月1日現在)について、下表の区分に沿ってご記入ください
 ・該当する箇所に職員がいない場合は、「0人」とご記入ください
 ・休職中・停職中の方は除いてください

	常勤職員	非常勤職員	計
学芸系職員 (うち学芸員有資格者数)	人 ()人	人 ()人	人 ()人
学芸員補職員	人	人	人
その他の職員	人	人	人
合計	人	人	人

- 設問 貴館園の学芸系職員、及び学芸員補職員の年齢構成(平成20年10月1日現在)について、下表の区分に沿ってご記入ください
 ・該当する箇所に職員がいない場合は、「0人」とご記入ください
 ・休職中・停職中の方は除いてください

	年齢	常勤職員	非常勤職員	計
学芸系職員	20代	人	人	人
	30代	人	人	人
	40代	人	人	人
	50代	人	人	人
	60歳以上	人	人	人
学芸員補職員	20代	人	人	人
	30代	人	人	人
	40代	人	人	人
	50代	人	人	人
	60歳以上	人	人	人
合計		人	人	人

※学芸系職員には、飼育・栽培担当、教育普及担当等の職員を含みます
 ※非常勤職員には、嘱託職員、臨時職員等を含みます

9. 学芸系職員の新規採用状況(最近3カ年:平成18・19・20年度)

- 設問 最近3カ年(平成18・19・20年度)の各年度において、貴館園が新規に採用した職員の数を下表の区分に沿ってご記入ください。ただし、学芸員補は含みません
 ・同じ嘱託職員などを雇用契約により再雇用したり、自治体など運営主体から異動したケースは含みません
 ・採用がなかった場合は、「0人」とご記入ください

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
学芸系常勤職員採用数	人	人	人
学芸系非常勤職員採用数	人	人	人

10. 学芸系職員の採用

■設問 貴館園において、今後3年以内に学芸系職員を新規に採用する予定がありますか。
 以下の選択肢の中から一つお選びください。「1. ある」をお選びの場合、さらに採用予定人数を
 延べでご記入ください

1. ある →延べ採用予定人数 (人程度)
2. ない
3. 未定

◆設問 11~22 は学芸員資格をお持ちの学芸系職員にご回答をお願いします◆

回答者に関する調査事項

11. 回答者の所属部署（役職名）・名前・連絡先（電話番号／メールアドレス）

■設問 あなたの所属部署（役職名）、お名前、連絡先（電話番号／メールアドレス）をご記入
 ください

所属部署（役職名） _____ お名前 _____

電話番号 _____ メールアドレス _____ @ _____

※ご記入いただいたご回答者の所属、氏名、連絡先等の個人情報、個人情報保護の観点から厳正に扱います。
 関係者のみが閲覧し、本委託事業以外の目的で使用することはありません。また、本調査の報告書にご回答者の氏名
 を掲載することはありません

12. 本調査の回答者（学芸系職員）の雇用状況

■設問 平成20年10月現在における、現在の博物館園でのあなたの勤務年数をご記入ください

勤務年数 _____ 年

■設問 あなたの就労形態について、以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

1. 正規職員
2. 嘱託職員
3. 臨時職員（アルバイトなど）
4. その他（ ）

■設問 あなたはどのような方法で採用されましたか。以下の選択肢の中から該当するものを
 一つお選びください

1. 一般職競争試験
2. 学芸員職選考試験
3. 学芸員職単独選考
4. その他（ ）

■設問 あなたは学芸員または学芸員補の発令をされていますか。以下の選択肢の中から該当する
 ものを一つお選びください

1. 発令されている
2. 発令されていない

■設問 あなたの給与区分について、以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

1. 事務職
2. 技師職
3. 研究職
4. 教員職
5. その他（ ）

学芸員資格などに関する調査事項

13. 本調査の回答者（学芸系職員）の学芸員資格取得動機

■設問 あなたが学芸員資格を取得した動機について、最も近いものを以下の選択肢の中から
 一つお選びください

1. 学芸員として博物館で仕事をしたいから
2. 博物館に関心があったから
3. 就職活動で有利になると考えたから
4. なんとなく（特別な目的はなかった）
5. その他（ ）

14. 本調査の回答者（学芸系職員）の学芸員資格取得方法

■設問 あなたはどのような方法で学芸員資格を取得されましたか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

1. 大学・大学院在籍時に取得
2. 通信教育によって取得
3. 学芸員補を経て取得
4. 文部科学省の試験認定によって取得
5. 社会教育政策研究センターの講習によって取得
6. 無試験認定によって取得

■設問 あなたはどこで学芸員実習を行いましたか。以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください。「1. 大学以外の博物館園」や「2. 大学附属の博物館園」をお選びの方は、実習先の館名をご記入ください。また、「5. その他」をお選びの方は、実習先の施設名をご記入ください

1. 大学以外の博物館園（館園名）
2. 大学附属の博物館園（館園名）
3. 文書館
4. 埋蔵文化財センター
5. その他（施設名）
6. 実習をしていない

15. 本調査の回答者（学芸系職員）が保有する他資格

■設問 あなたが学芸員資格以外に取得された資格はありますか。以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください

1. 図書館司書
2. 社会教育主事
3. 教員
4. その他（

16. 学芸員養成課程の効果・影響

■設問 あなたは学芸員養成課程で学んだことが、現在の業務に役に立っていると思いますか。以下の選択肢から該当するものを一つお選びの上、その理由を（ ）内に記入してください

1. 役に立っている
→（理由）
2. 役に立っていない
→（理由）

17. 学芸員資格の有無による待遇の違い

■設問 あなたの館園では給与面や人事面などにおいて、学芸員資格の有無による待遇の違いがありますか。以下の選択肢の中から一つお選びください。「1. ある」をお選びの場合、さらにその内容をご記入ください

1. ある →（内容）
2. ない

学芸系職員の業務内容に関する調査事項

18. 本調査の回答者（学芸系職員）が担当する業務の比重割合

- **設問** 現在、あなたが担当している業務のうち、下の表内にある選択肢の中で該当する業務について、年間の総業務量に占めるおおよその比重割合をご記入ください
- ・ 比重割合の総計が 100%になるようにご記入ください（右の欄の例をご参考にしてください）
 - ・ それぞれの業務に伴う予算の準備、庶務的業務等は、それぞれの項目に含めてお考えください
 - ・ 「その他」については、その業務内容を（ ）にご記入ください

職 務	総業務量における割合	(例)
1. 博物館資料の収集保存活動に関する業務	%	25%
2. 調査研究活動に関する業務	%	15%
3. 展示活動に関する業務	%	30%
4. 教育普及活動に関する業務	%	%
5. 博物館のマネージメント活動に関する業務	%	30%
6. その他 ()	%	%
合 計	100%	100%

※業務の事例

1	博物館資料の収集保存活動に関する業務	資料の収集、資料の分類・整理・保管、データベースの整備 等
2	調査研究活動に関する業務	論文執筆、学会への出席 等
3	展示活動に関する業務	常設展示の維持管理、常設展示の更新等に関する立案・構成・実施、特別・企画展示の立案・構成・実施 等
4	教育普及活動に関する業務	ガイドツアーやギャラリートーク等の展示解説の企画・実施、講座や観察会・研修会等のプログラムの企画・実施、学校教育との連携に関する業務、友の会会員やボランティアの受け入れに関する業務 等
5	博物館のマネージメント活動に関する業務	経営、管理(博物館の評価活動を含む)、営業、広報活動(情報公開を含む) 等

新規採用学芸系職員に求めるスキルに関する調査事項

19. 新任の学芸系職員に必要な資質や能力

- **設問** 新任の学芸系職員に必要と思われる資質や能力について、下の記入欄に自由にご記入ください

学芸員制度に関する調査事項

20. 学芸員のイメージ

- 設問 あなたが博物館に就職する前に思い描いていた学芸員像と現在の業務を比べて、違いがあれば下の記入欄に自由に記入してください

21. 日本の学芸員のありかた

- 設問 あなたは、日本の学芸員はどのようにあるべきとお考えですか。以下の選択肢の中から該当するものをいずれか一つお選びください
 - もっと専門性を深めるべきである
 - 浅くとも広範にわたる分野を網羅的に把握するべきである
- 設問 あなたは、学芸員として連続して勤務する期間はどのくらいが適当とお考えですか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください
 - 2年以下
 - 3～4年
 - 5～6年
 - 7～9年
 - 10年以上
- 設問 上記設問でお選びになった回答の理由について、以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください（複数回答可）
 - 博物館事業の継続性の観点から
 - 博物館業務に習熟する期間として
 - 担当する事業を完結させるのに必要なため
 - 地域や関係者からの信頼を得るため
 - その他（)

22. 大学における学芸員養成課程

- 設問 現在、大学における学芸員養成課程の科目や単位数が検討されています。学芸員資格取得に必要な科目や単位数が増えることについて、あなたのお考えを下記の欄にご記入ください

- 設問 大学における学芸員養成課程での博物館実習を受け入れるに当たり、下表にある項目について、あなたのお考えをそれぞれの欄に自由にご記入ください

	内 容
大学への要望	
適切と思われる 実習期間	
適切と思われる 実習内容	

文部科学省委託事業
大学における学芸員養成課程及び資格取得者の意識調査
(調査票D:自治体職員用)

【調査の目的】

文部科学省「平成20年度 地域と共に歩む博物館育成事業」の一環として、博物館制度のうち学芸員資格について、学芸員資格を持つ自治体職員の方がどのように捉えているかを調査するものです。収集したデータや関係者のご意見は、今後の施策検討の参考にされます。

【ご回答者に関するお願い】

- ・博物館に勤務している職員以外の方がご回答くださるようお願いします。
- ※「博物館」とは、美術館、資料館、史料館などのほか、動物園、植物園、水族館も含まれます。
- ・設問1～4：貴自治体で、人事関連業務に携わっている職員にご回答をお願いします。
- ・設問5～11：貴自治体で、学芸員資格をお持ちの職員にご回答をお願いします。

【個人情報保護について】

回答者の所属、氏名、連絡先等の個人情報は、個人情報保護の観点から厳正に扱います。関係者のみが閲覧し、本委託事業以外の目的で使用することはありません。

【回答について】

- ・回答できない箇所がございましたら、空欄のままで結構です。
- ・設問の前に★印がある場合、設問文に指示された回答者のみご回答ください。
- ・該当しない項目もあるかと存じますが、ご了承ください。

◆設問1～4は人事関連業務に携わっている職員にご回答をお願いします◆

自治体に関する調査事項

1. 自治体の名称・回答者

- 設問 都道府県あるいは市区町村の名称をご記入ください

名称 _____

- 設問 あなたの所属部署（役職名）、お名前、連絡先（電話番号／メールアドレス）をご記入ください

所属部署（役職名） _____ お名前 _____
電話番号 _____ メールアドレス _____ @ _____

※ご記入いただいたご回答者の所属、氏名、連絡先等の個人情報は、個人情報保護の観点から厳正に扱います。
関係者のみが閲覧し、本委託事業以外の目的で使用することはありません

◆設問 5～11 は学芸員資格をお持ちの職員にご回答をお願いします◆

回答者に関する調査事項

5. 回答者の基礎的事項

- 設問 あなたの所属部署と役職名、お名前、連絡先（電話番号／メールアドレス）をご記入ください。電話番号は、自治体の代表番号と内線番号、あるいは直通番号をご記入ください

所属部署（役職名） _____ お名前 _____
電話番号 代表 _____ (内線) _____ 直通 _____
メールアドレス _____ @ _____

※ご記入いただいたご回答者の氏名、所属等の個人情報は、個人情報保護の観点から厳正に扱います。
関係者のみが閲覧し、本委託事業以外の目的で使用することはありません。また、本調査の報告書にご回答者の氏名を掲載することはありません

6. 勤務状況

■設問 平成20年10月現在、あなたが勤務している自治体における勤務年数をご記入ください

勤務年数 _____年

■設問 あなたの所属部署についてお聞きします。以下の選択肢をもとに、現在所属している部署と、これまで所属したことがある部署で、以下の選択肢の中から該当するものを全てご記入ください（これまで所属したことがある部署は、複数回答可）。また、「12. その他」をお選びの方は、その内容をご記入ください

1. 総務・議会関係 2. 経済・税務関係 3. 住民関係 4. 保健・福祉関係
 5. 都市計画関係 6. 建築・土木関係 7. 環境・水道関係 8. 交通など事業関係
 9. 教育・学校関係 10. 公共施設関係 11. 文化財関係 12. その他

	該当する番号（その他の内容）
現在所属している 部署	(その他の内容：)
これまで所属した ことがある部署 (複数回答可)	(その他の内容：)

■設問 あなたの就労形態について、以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

1. 正規職員 2. 嘱託職員
 3. 臨時職員（アルバイトなど） 4. その他（)

■設問 あなたが現在所属している部署は、博物館及び博物館活動と関係がありますか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください。また、「1. 関係がある」をお選びの方は、さらに、隣の設問の選択肢の中から該当するものを全てお選びください（複数回答可）

1. ある →1. 博物館を所管する
 2. 博物館建設を担当する
 3. 博物館登録事務を担当する
 4. その他（)
 2. ない

■設問 あなたはこれまでに博物館に学芸員として配属されたことがありますか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

1. ある 2. ない

7. 学芸員資格について

■設問 あなたが学芸員資格を取得した動機について、最も近いものを以下の選択肢の中から一つお選びください

- 1. 学芸員として博物館で仕事をしたかったから
- 2. 博物館に関心があったから
- 3. 就職活動で有利になると考えたから
- 4. なんとなく(特別な目的はなかった)
- 5. その他 ()

■設問 あなたはどのような方法で学芸員資格を取得されましたか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

- 1. 大学・大学院在籍時に取得
- 2. 通信教育によって取得
- 3. 学芸員補を経て取得
- 4. 文部科学省の試験認定によって取得
- 5. 社会教育政策研究センターの講習によって取得
- 6. 無試験認定によって取得

■設問 学芸員資格を取得するのは容易でしたか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

- 1. 容易だった
- 2. 難しかった

■設問 あなたが学芸員養成課程で学んだことが、現在の業務に役に立っていると思いますか。以下の選択肢から該当するものを一つお選びの上、その理由を()内に記入してください

- 1. 役に立っている
→ (理由)
- 2. 役に立っていない
→ (理由)

■設問 あなたは学芸員資格以外に取得された資格がありますか。以下の選択肢の中から該当するものを全てお選びください

- 1. 図書館司書
- 2. 社会教育主事
- 3. 教員
- 4. その他 ()

■設問 あなたは、博物館以外で学芸員資格を活用できる仕事があると考えますか。以下の選択肢の中から該当するものを一つお選びください

- 1. ある
- 2. ない

★設問 (上記設問で、「1. ある」を選んだ方のみお答えください) 学芸員資格を活用できる仕事の内容と、その理由を下の記入欄に自由に記入してください

学芸員資格を 活用できる仕事 の内容	
その理由	

学芸員養成課程に関する調査事項					
8. 学芸員養成課程に対する評価					
<p>■設問 あなたが学んだ学芸員養成課程について、下の表の各欄に「たいへん満足」「満足」「不満」「たいへん不満」のどれか一つを選び、その欄に○印をご記入ください。なお、「普通」や「どちらともいえない」のような場合でも、以下の選択肢の中から最も近いものを必ずお選びください</p>					
	評価の基準とする項目	たいへん満足	満足	不満	たいへん不満
カリキュラム	履修科目数、履修単位数、履修科目の内容				
博物館実習 (館務実習)	単位数、実習内容、実習期間、実習先の選択（あなたの専門分野と実習先の館種との整合性）、実習先（博物館）の体制（設備、備品、実習生の数、指導に当たる職員の数、指導方法）				
学習環境	講義に使用する資料・施設や設備・備品、学生数、教員の数、教員の指導方法				
9. 学芸員養成課程に対する要望					
<p>■設問 大学の学芸員養成課程全般に対する要望があれば、下の記入欄に自由に記入してください</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>					
博物館や学芸員への理解・知識に関する調査事項					
10. 学芸員に関する理解					
<p>■設問 学芸員に必要と思われる資質や能力について、下の記入欄に自由に記入してください</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>					
11. 博物館・学芸員に対する要望					
<p>■設問 博物館に対する要望がございましたら、下の記入欄に自由に記入してください</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>					
<p>■設問 学芸員に対する要望がございましたら、下の記入欄に自由に記入してください</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>					

文部科学省委託事業
大学における学芸員養成課程及び資格取得者の意識調査
(調査E：会社員・団体職員用)

調査項目について

1. 会社・団体に関する調査事項

●学芸員資格への対応について

- ・社員や職員を採用する場合、学芸員資格を保有していることを重要視しているか
- ・学芸員資格を保有している社員や職員に対して、特別な待遇を設けているか
- ・学芸員資格を保有している社員や職員が、その知識や技能を活用できる業務があるか

2. 学芸員有資格者に関する調査事項

●学芸員有資格者の担当業務について

- ・現在の業務内容
- ・今まで担当したことがある業務内容（前職も含む）

●学芸員資格の取得について

- ・学芸員資格を取得した動機
- ・学芸員資格の取得方法
- ・学芸員資格を取得した印象（容易だったか／難しかったか）
- ・学芸員資格以外に取得した資格
- ・博物館以外に学芸員資格を活用できる仕事（仕事内容／その理由）

●現在の博物館との関わりについて

- ・博物館への来館頻度
- ・博物館の利用状況（どのように利用しているか）
- ・博物館活動への参画状況（友の会、ボランティアなど）

●大学における学芸員養成課程について

- ・学芸員養成課程に対する評価（カリキュラム／博物館実習（館務実習）／学習環境）
- ・学芸員養成課程に対する要望
- ・学芸員養成課程の効果・影響（学んだことが現在の業務に役立っているか）

●我が国の博物館や学芸員について

- ・博物館に対する要望
- ・学芸員に対する要望

平成 20 年度文部科学省委託事業
大学における学芸員養成課程及び資格取得者の意識調査
報告書

発 行 日：平成 21 年 3 月 10 日

調査・編集・発行：株式会社 丹青研究所

〒110-0005 東京都台東区上野五丁目三番四号 植木ビル

TEL：03-3836-7607 FAX：03-3836-7321